

令和元年第 10 回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和元年 10 月 21 日 (月) 14 時 00 分
- 2 閉会日時 同 日 14 時 50 分
- 3 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
- 4 出席者 教 育 長 兼 松 儀 郎
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	本 玉 義 人
教育総務課長	今 西 利 夫
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	伊 藤 勝
生涯学習課長	森 幸 三
図書館長	菅 野 広 美
総合教育センター所長	常 峰 修 一
教育総務課主幹	井 上 英 文
生涯学習課主幹	永 井 信 弘
こども未来課主幹	周 夕 美
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

6 付議事項

議案第 3 2 号 加西市認定こども園「泉よつばこども園」設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

議案第 3 3 号 加西市青少年補導委員の追加委嘱について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第32号 加西市認定こども園「泉よつばこども園」設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

こども未来課長より説明する。前回審議いただいた「泉よつばこども園」の名称の内容で今回設管条例として条例の改正を行う。泉よつばこども園は日吉、宇仁、泉の幼稚園、泉第三保育所、休園中の西在田幼稚園を統合し、こども園となり、賀茂幼稚園もこども園として4月から開園予定であり、これで加西市の5つの公立園は全てこども園となる。そのため、これまでの保育所、幼稚園、幼稚園の閉園をあわせて行う。

認定こども園の設管条例の改正は、幼稚園、幼稚園、保育所の名称のあるものについてこの機会に見直し、第1条から第3条については既存の条例の改正、第4条、第5条、第6条については既存の条例の廃止など6本の改廃を行う。

加西市立学校施設目的外使用条例の一部改正について、従来まで学校及び幼稚園の建物を対象として定められたものであるが、来年から幼稚園がなくなり学校のみとなるため、第2条の「幼稚園」を削除、第3条「校園長」を「校長」とする。第5条についても「学校」、「校長」のみの表記、第9条についても「校長」のみの表記、第10条第4項についても「校長」のみの表記に改正。

加西市認定こども園設置条例の一部改正について、現在、3園のこども園に賀茂幼稚園と泉よつばこども園を加え、5園のこども園として名称の整理を行う。事業についても、「幼稚園又は保育所として行う事業に加え」という表現を「小学校就学前の子どもに対し、教育及び保育を提供する事業のほか」と改める。事業内容に変化はない。

加西市幼稚園型一時預かり事業についても、条例名に「加西市立」とされていたが、これはもともと「幼稚園型一時預かり事業」に係る言葉であり、今回の条例改正に伴い「立」を削除する。趣旨の第1条についても、「幼稚園児の保育」としていたものを教育時間終了後及び休業日の「園児の」とし、「幼稚園児」という言葉を省く。内容そのものに変更はなく、表現のみの変更である。使用施設については、第2条「加西市立幼稚園、幼稚園又は認定こども園とする」としていたものを全て「加西市立認定こども園」に変更する。別表については、幼稚園と幼稚園の料金表を掲示していたが全て認定こども園となるため、認定こども園の料金をそのまま据え置きして整理する。

第4条加西市立保育所の設置及び管理に関する条例については、全てこども園となるため廃止とする。

第5条加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例についても、全てこども園となるため廃止とする。

第6条加西市幼稚園事業実施に関する条例についても、全てこども園になるため廃止とする。

これらの条例の改廃は、こども園が開園する令和2年4月1日より施行する。

(補足) 賀茂幼稚園については、他のこども園と同様に賀茂こども園という名称を想定していたものの、加東市に加茂こども園が存在するため、現名称を使用するが、位置づけとしてはこども園として条例で制定される。

議案第33号 加西市青少年補導委員の追加委嘱について

加西市青少年補導委員の追加委嘱について、総合教育センター所長より説明する。辞任の意向の申し出があったため、加西市立総合教育センター条例施行規則第4条の規定により、追加委嘱する。

9 議決事項

議案第32号 加西市認定こども園「泉よつばこども園」設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

原案通り可決

議案第33号 加西市青少年補導委員の追加委嘱について

原案通り可決

10 報告事項

教育長

9月26日(木) 市議会本会議(最終日)

- 9月30日（月）教育委員計画訪問（泉幼稚園・泉小学校・西在田小学校）
- 10月1日（火）第72回加西市小学校体育大会（北条小学校）
- 10月3日（木）定例校長会
- 10月5日（土）第43回加西市子ども会親善球技大会（ぜんぼうグリーンパーク）
- 10月6日（日）第52回加西市体育大会（アラジスタジアム）
- 10月8日（火）教育委員計画訪問（加西こども園・加西中学校・九会小学校）
- 10月8日（火）第2回加西市子ども・子育て会議
- 10月9日（水）事業実施計画ヒアリング
- 10月13日（日）「令和元年度MOA美術館加西児童作品展」表彰式（アステシア加西）
- 10月14日（月）北播中学校駅伝競走大会（善防中学校）
- 10月20日（日）善防公民館まつり（善防公民館）

学校教育課長

「全国学力・学習状況調査」について学校教育課長より報告する。4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の広報誌を10月1日付で小・中・特別支援学校の保護者に配布、隣保回覧、ホームページ等で公表。小学校6年生と中学校3年生の全児童・生徒を対象とし、教科に関する調査と生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査を実施。今年度は国語、算数、数学に加え、中学校で初めて英語を実施。

この調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であるので、この結果だけで児童・生徒の学力は高い低いといった評価をしてはいけないことを、事務局並びに学校長とも共通理解をしている。全国規模の調査であることを踏まえ、例年加西市及び各学校の状況を客観的に把握し分析することにより非常に有効な調査であると考え、丁寧な考察を行っている。

具体的な学力に関する状況を報告。全国平均に比べ、小学校6年生の国語では低い、算数でやや低い数値であった。中学校では、国語は全国と同程度、数学、英語はやや高い数値となっている。学習の状況についても、主なものをグラフで示している。なお、高い低いの程度の基準はページ下の欄外に記載している。

学習状況については、小学校は学習への関心や自己肯定感、自己有用感、生活習慣において全て良好な結果となっている。中学校は規範意識、自己有用感、生活習慣について良好な結果であったが、学習に関する関心についてはやや課題が残っている。

それぞれの教科の領域ごとの結果と定着傾向が認められた項目、問題例、課題が見られた問題例を掲載。小学校国語について漢字を文中で正しく使うことに大きな課題が残っている。中学校国語については、書くことについて年々定着が図られてきているが、依然として

目的や意図に応じて相手にわかりやすくであるとか、根拠を明確にしながら書くということに課題が残っている。小学校算数については、足し算と引き算が入り交じった整数と小数の計算、資料の特徴や傾向を関連付けて計算式を導き出すこと。単位量あたりの大きさを基に求め方と答えを書き、その結果から判断するなどの問題に課題が残っている。中学校の数学については、資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明すること、この説明する力について、過去の状況同様課題の残る結果となった。中学校英語については、聞くこと、書くことなど全領域において良好な結果であったが、英語で問われたことについての的確に答える、即答のやり取りが全国的に数値が低く、課題の残る結果が加西の子どもたちにも見られた。

児童・生徒質問紙については裏面の3に記載。小学校については、朝食を食べている割合が平成26年度以降の調査で最低の数値となり94%としている。自己肯定感や達成感などの項目については、平成26年度以降の調査結果の最高値を示している。特に、5の「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の設問について、調査のあった平成29年度と比較して9ポイントも上昇しており、頼もしい姿が見て取れる。中学校においては、全体的には例年どおりの数値であるが、5年前の中学校3年生と比べ、向上心を持って生きる力を身に付けようとする姿は定着したと見ている。一方、学習への興味や関心についてはやや低い値となっている。

文部科学省も重視している項目として、自己肯定感、挑戦心、達成感等、最終ページにはICTを活用した学習状況、主体的、対話的で深い学びの視点について、学力との関連について掲載している。

調査結果から注目すべき点は、加西市の児童・生徒は学力の基盤となる前向きな気持ちで安定した学校生活、有用感や自尊感情の向上した児童・生徒の増加、各教科における学習への主体的な姿勢の向上が着実に上向いているということである。市内の全小・中学校においても、結果や考察の内容については、児童・生徒及び保護者に紙面で報告するとともに、実際に授業の中で問題を再度みんなで解いたり、ポイントとなる部分を教師が説明したりしながら、今後につながるような指導をしている。また、教頭会の席上では、各校の結果と考察を踏まえた取り組み状況について情報交換の場を持ち、他校から学ぶ機会としている。日程は調整中であるが、各校の研究推進担当や希望者を募り、加西学力向上セミナーを開催し、課題の共通理解とその改善点について周知を図っていきたいと考えている。

教育委員からの意見、質問および学校教育課長の回答

- ・本当にしっかりと分析し考察をされており感心している。特に平成28年度に小学校6年生だった子どもたちが、中学校3年生になった平成31年度との経年比較のところ

で、小学校ではあまり結果が良くなかったが、中学校で伸びてきている。どうやって子どもたちを伸ばしているのか、分析をされ、いろいろなところで研究をされていると思うので、そのノウハウをしっかりと授業などに生かしていただきたい。

・学習状況調査との関連で、自己肯定感が強い子どもたちが学力のほうでも、いい傾向を示しているのは、とても良いと思った。教科学習というのも大切だけれども、子どもたちの自己肯定感であるとか、やる気を育てる、といったところも指導していただきたいと思う。

・課題と感じたのは、「生活と学習」の関連で中学校3年生の「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の割合がずっと昔から50%を切っているのが気になるので、ここは改善課題だと見ている。

・毎年加西教育ネットを見させていただくと、小学校で、全国よりに平均を下回る部分があるが、中学校になると上がってくる。本来、基礎ができていなかったら中学校になるとさらに悪くなると考えるところが、向上している。この要因をしっかりと押さえることができれば、次に向かって何か小学校のほうでもステップアップができるのではないかなと思う。この要因に関して把握はされているのか。

(回答) 兼ねてから小学校の学力は全国平均並みか、わずかに高いか低い状況である。全国平均との比較で高いか低いかを吟味することの議論があろうかと思うが、決して全国平均を大きく上回ることだけが良好というわけではない。

その上で、まず、平成29年度には高い数値をあらわした学校もあったが、おっしゃるように小学校の学力については課題があると思う。ただ、自己肯定感、学習生活、そのあたりの子どもたちの意欲、関心が大変定着していることは、学習に向かう姿勢というものが、小学校の間にきっちり身につけていると感じる。この点は、中学校の教員からも評価をいただいている。中1ギャップをできるだけ低くしながら学習に向かうスタイルを小学校で作って、意欲を持って中学校に進学させていきたいと取り組んでいる。

次に、教科の専門性のある中学校の教員が、小学校での課題を見つめながら伸ばしてくれているということがある。特に、泉中学校での取り組みで4小学校との学習、特に数学で事前テストをしてもらい、小学校時代の課題は何かを数学の先生が分析し、中学校で授業に生かす取り組みをしていただいている。このように4中学校とも小・中の接続を円滑にやっていただいていることが、中学校での高結果につながっていると分析している。

・小学校のいろんな情報を中学校にも伝え、いい意味でその要因を向上していけるようにさらに努力願いたい。

・「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問があるが、子どもは1つでも親以上にいいところを認めてもらえると、すごく喜び、頑張っ勉強ができると思う。しかし、ある親御さんから、先生がお子さんの全てを否定されたために、子どもがすごく悩んだというお話を聞いた。

先生もストレスがあり、そのように発することもあろうかとは思いますが、どのような指導を受けているのか。

(回答) かなり個別な教員の話だとは思いますが、そのような情報があれば、お伝えいただきながら、課題のある教員に対しては学校長とともに状況を踏まえながら指導をしていきたいと考えている。温かい目で支えてくれている教員がいることも認めていただいていると思うが、課題のある教員が少しでもスキルアップできるように対応したいので、今後とも課題の解決に向け、ご意見をいただきたい。

生涯学習課長

加西市盆栽展の開催のイベント情報について、生涯学習課長より報告する。11月2日(土)から4日(月)の祝日までの3日間の予定で開催する。場所はアスティアかさい3階の加西市地域交流センター、最終日のみ16時までとなっているが、9時から17時まで開催している。盆栽展は53回であり、加西市盆栽研究会が中心になり、会員が丹精を込めて育てられた作品約30点が展示されることとなっている。

昨年度との変更点は、賞の授与をなくし、中央公民館が夏休みに実施した親子盆栽教室の参加者にも声をかけ、会員の丹精込めた立派な作品に加え、初心者の盆栽も出して市民に見ていただく予定になっている。初心者の作品を展示することにより、盆栽が初心者向けからだんだん立派なものになっていくところを展示をとおして市民に見ていただき、後継者育成の一助としようと考えている。委員の皆様にも、のぞいていただきたいと思っている。

図書館長

絵本講座の開催について、図書館長より報告する。図書館では12月1日(日)に絵本講座「子どもたちに絵本の楽しさを伝えよう」を開催する。講師は岡山県倉敷市在住の絵本専門士の都築照代(つづきてるよ)さん。読み聞かせにお勧めの絵本の紹介や基本的な読み聞かせの技術について、実践を交えながらの話をしていただく。申し込み受け付けは11月2

日から行う。

総合教育センター所長

令和元年度「いじめ防止運動」の持ち回り作品展について、総合教育センター所長より報告する。児童・生徒のいじめの未然防止を目的とした標語やポスターを創作することにより、いじめに対して正しい認識をもって、いじめを防止しようとする意識の高揚を図るため、市内小学校5、6年生と中学校1年生には標語、中学校2、3年生にはポスターを募集した。応募総数1,145点のうち標語は911点、ポスターは234点であった。審査会で学年ごとに最優秀賞を1点、優秀賞を2点、佳作3から5点を選んだ。

アステシアかさいのギャラリーで入賞作品展を開催し、広く市民の皆様にもいじめ防止啓発と、子どもたちのいじめ防止に向けた取り組みを紹介させていただいた。市内小学校、中学校、特別支援学校の全16校において、1週間ずつ持ち回り作品展を実施している。標語ポスターの入賞作品を鑑賞することで、いじめを防止しようとする意識の高揚を図っていきたいと考えている。

次に、令和元年度土曜チャレンジ学習の中間まとめについて報告する。土曜日の子どもたちの受け皿として、心豊かで有意義な土曜日を過ごす環境を提供するため、学校、家庭、地域の連携協力推進事業の一環として、平成26年度から行っている事業。令和元年は北条小、北条東小、下里小、富合小、九会小、泉小の6校区を会場として、ふるさと創造会議、PTA、子供会、公民館、陸上競技協会などが支援団体となり実施している。このうち善防公民館と陸上競技協会が支援団体となっている活動については、市内全域からも参加を受け付けている。活動内容については、制作活動、スポーツ活動、自然科学の学習活動、郷土愛を育てる活動、命の学習活動、料理活動などをそれぞれ工夫して行われている。

現在、全体で7割ほどの活動を終え、参加者は延べ1,284名となっている。学校教育と社会教育が両輪となり、心豊かでふるさとを愛する加西っ子を育てている。

教育委員からの意見、質問および総合教育センター所長の回答

・いじめ防止運動について、私もこの期間中にアステシアのギャラリーへ行って作品展を拝見した。標語は900ほどの力作の中から選ばれているのだが、標語の決まりきった言葉ではなく、何か子どもの素直な言葉を重視して選ばれているなど感じた。標語を考えたり、絵画を描く際に子どもたちはいじめに対して、こういうことはしてはいけないことだと、書きながら自分自身にも啓発していると思う。

図書館から出てこられた親子が一緒に歩きながら作品について話している姿もあり、

市民全体で鑑賞して、いじめを防止していくのにとっても役立っていると感じ、感心した。

また、今、不法投棄・ポイ捨て禁止のポスターも掲示されているので、それも市民みんなへの啓発になるので、本当にいいことだと思った。

・せっかく学校を巡回するので、ただ掲示するだけではなく、その都度紹介していただき、改めて子どもたちが人権について考える機会にしていきたい。

・土曜チャレンジ学習の内容について、他の委員さんから教えていただき、いい活動がされていることがよくわかった。学校の中だけではできない、地域の方たちや PTA の方たち、普段学校におられない方たちとのいろいろなふれあいがあり、とてもいい活動であることがよくわかった。これに関してどのような利点があるのか、今後どのように進めていられるのかお聞きしたい。

(回答) 高齢化していく社会の中で、祖父母と一緒に三世代交流や、ふるさと創造会議等の市の方針として取り組んでいるので、その中に子どもも入る。保護者が忙しく、昔であれば祖父母に教えてもらっていたことや、親御さんと活動していたようなこと、陶芸教室など、いろいろなことに体験活動ができているところも利点として挙げられる。スポーツでは、陸上というジャンルだけになるが、スポーツの基本となるところも陸上競技教室を通して学んでいるところであるとか、さまざまな活動を提供できていることが利点であると考えている。

これからの展望については、こういう取り組みの中でやりがいを感じていただいている支援団体の方もるので、協調を図りながら、また、補助金もいただいているので、上手に利用させていただきながら、考えていきたいと思っている。

懸案事項として、スタートのときには国、県と3分の1ずつ、市からも補助金をいただいていたが、令和元年度から削られてきた。来年度、土曜チャレンジの講師の謝金や、活動の材料費等をどういう形で予算がお渡しできるのか、頭を痛めている。

・続けていくことは大変なことだと思うが、よろしくお願ひしたい。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

・8月に小・中学校で奉仕作業を行っているが、今年は、4、5名の方が蜂に刺された。

そこで提案であるが、各学校で奉仕作業の前に PTA の会員、校長先生、教頭先生と一緒に蜂の巣などを調査していただき、蜂の巣があるようなら、事前に駆除していただきたい。毎年、誰かが刺されているようであるが、アナフィラキシーショックなどは命にかかわるので、事前に撤去していただくよう検討していただきたい。

(回答) 基本的に、小・中学校で蜂の巣を発見した場合は、教育総務課に連絡をいただき、その状態によっては専門の業者に依頼して、駆除活動は普段から行っている。奉仕作業は、学校の敷地全体になるので、普段気づかなかったようなところに蜂の巣があるという可能性も出てくるので、事前に学校等を見て回っていただき、発見した場合はすぐに連絡をいただければ対応させていただく。

1.3 今後の予定について

- ・第 11 回定例教育委員会 11 月 20 日 (水) 14:00～1F 多目的ホール
- ・第 12 回定例教育委員会 12 月 19 日 (木) 14:00～1F 多目的ホール

1.4 その他

・今テレビでよく言われている先生の件に関し、教育委員会ではどのように考え、どのように取り組んでいかれるのか。

(回答) 学校教育課では、先般の報道を受け、県教育委員会からコンプライアンス的に各学校そういった事案はないのか、どのような指導体制をとっているのか、管理職を中心にアンケート調査をし、取り組み状況について、組織体制について見直す機会を持たせていただいている。

10 月 29 日の定例校長会のときに具体的に各学校での状況や懸案になるようなことを全体場で研修、コンプライアンス会議のような形を行っていきたいと考えている。

また、10 月 23 日、24 日、25 日の 3 日間、各学校の校長、教育長、部長との面談もある。これは目標設定の中間報告をいただく目的で、以前より予定していたものであるが、その場で、それぞれの学校の課題や教職員の育成、人事評価も含め、情報交換もあわせて行う予定である。

公式な場だけではなく、個々の情報、気になるような事案があれば、すぐに管理職と情報交換をしながら、風通しのよい教育委員会を目指し、教員、子どもも含め心の傷をケアできるよう迅速な対応を心がけたいと思っている。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和元年 10 月 21 日

出席者

(出席者署名)